

薬剤誘発慢性色素性紫斑

シプロヘプタジン塩酸塩, エナラプリルマレイン酸塩, センノシド



76歳, 男. 10年以上前より, 糖尿病, 高血圧, 慢性胃炎, 3カ月前よりアレルギー性鼻炎. 初診の2カ月前より下腿に点状紫斑が出現, 次第に軀幹に拡がり, 多数の点状紫斑を混じた紅褐色色素斑が左右対称に認められた(上). 下腿にも点状紫斑を混

じた紅褐色色素斑を認めた(下). DLSTが陽性であった3薬剤を中止したところ皮疹の新生がなくなり, 6カ月後には色素沈着が消失した.

(伊澤有香ほか: 皮膚病診療 35: 1145, 2013)